

まちの
魅力

体験講座

開催日：平成30年3月17日（土）

京都産業大学井手応援隊の活動拠点である「むすび家 ide」では、地域の学びと交流の場として、井手応援隊の学生らが井手町の地域活性化の活動を行っています。

今回、小野小町や紫式部などが和歌に詠んでいる井手の玉川に着目し、水をテーマにした「名水（利き水）」・「お茶（茶かぶき）」・「お花（いけばな）」の体験講座を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

テーマ ※詳細は裏面をご覧ください

体験講座① 13:00～14:00【定員20名】

「井手の名水を知る」（利き水体験） 京都産業大学現代社会学部教授 鈴木 康久 氏

体験講座② 14:15～15:15【定員20名】

「お茶の魅力を感じる」（茶かぶき体験） 宇治茶師かねまた五代目 谷口 郁男 氏

体験講座③ 15:30～17:00【定員20名】

「井手の玉川を生ける」（いけばな体験） 華道嵯峨御流総司所教授 石川利佳甫 氏

対象定員

体験講座①～③まで町内外に関わらず参加いただけます。
※すべて事前申込制で定員20名まで（応募多数の場合は先着順）

場所

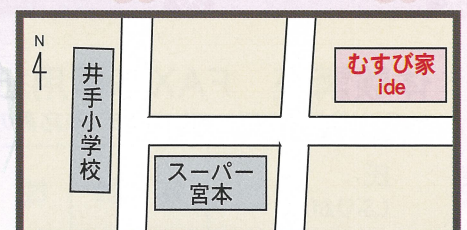
井手応援隊活動拠点「むすび家 ide」（井手町宮ノ本 97-1）
※むすび家 ide までの行き帰りの移動等は各自でお願いします。
お車で来られる場合には玉泉苑（井手町井手東前回 23 番地）に駐車ください。

申込方法

参加ご希望の方は、氏名（ふりがな）、年齢、性別、住所、電話番号を記入のうえ、FAX（0774-82-5055）でお申し込みください。（応募締切／3月9日（金）17時まで）
※応募者多数の場合は先着順となります。なお、応募の際にお預かりした個人情報、本体験講座開催以外の目的では使用いたしません。

参加費

無料
（参加者は全員傷害保険に加入いたします）



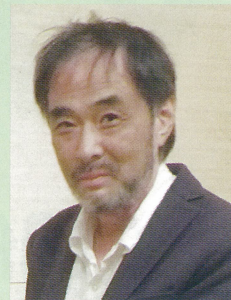
各回の開催日およびテーマ・実施概要

体験講座① 13:00～14:00【定員20名】

「井手の名水を知る」(利き水体験)

井手町に伝わる「玉水井」、「玉井」、「蛙塚の水」、「六角井戸」など、の伝承などについてお話しします。

また、名水、水道水、ヨーロッパの硬水などの「利き水体験」も行います。



鈴木 康久 (すずき みちひさ)

京都産業大学現代社会学部教授。博士(農学)。カップ研究会世話人。琵琶湖・淀川流域圏連携交流会副代表幹事。専門は、河川や井戸に関わる「水文化」。著書に「水が語る京の暮らし」、「京都鴨川探訪」、「京都宇治川探訪」、「京の水案内」、他。

体験講座② 14:15～15:15【定員20名】

「お茶の魅力を感じる」(茶かぶき体験)

「お茶の京都」から世界に伝えたいお茶の魅力をお話しします。また、玉露、煎茶など、お茶の種類を当てる「茶かぶき体験」も行います。



谷口 郁男 (たにぐち いくお)

京都府宇治田原町生まれ。地元宇治田原町産のお茶を扱う、かねまた店主 五代目。宇治田原町地域づくり団体 21お茶のふるさと塾 塾長。京都府農業会議ふるさとセンター企画運営委員。祇園祭太子山・荷茶屋巡行お茶頭役。京都新聞の「やましろ随想」を2009年4月から連載中。茶道遠州流会報誌「遠州」にて「お茶の不思議」18回連載執筆、他。

体験講座③ 15:30～17:00【定員20名】

「井手の玉川を生ける」(いけばな体験)

嵯峨御流に江戸期から伝わる山吹等を使ったいけばな「玉川」の生け方を伝授いたします。

また、参加者が桜や春の花を用い、玉川のイメージで花を生ける「いけばな体験」も行います。

※生けた花材は参加者の方々にお持ち帰りいただけます。



石川 利佳甫 (いしかわ りかほ)

華名：佳照院 堯芳齋 石川利佳甫(かしょういん ぎょうほうさい いしかわりかほ)。華道 嵯峨御流 総司所教授。元嵯峨芸術大学非常勤講師。学区内新聞(月刊)「きょうごく」に「葉っぱ星人の京極はなごよみ」を平成20年より連載中。市比賣(いちひめ)神社 ひいな祭、重陽祭 献花。御霊神社「いちはつを守る会」世話人、他。

体験講座 FAX応募用紙

★ FAX番号：0774-82-5055 ※応募の際にお預かりした個人情報、本講座の開催以外の目的では使用いたしません。

氏名 (ふりがな)	年齢	性別	住所	電話番号	参加を希望する講座 (複数選択も可能)
		男・女			① ・ ② ・ ③